

北陸地方整備局の事業進捗等について

別紙1

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道7号 新発田拡幅	自:新潟県新発田市 奥山新保 至:新潟県新発田市 三日市	平成3年度事業化 平成6年度用地着手 平成12年度工事着手	340 340	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約58% 事業進捗率:約52% (令和5年3月末時点) 舟入交差点～小舟町交差点 L=1.8km(4/4) 平成27年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 城北町地区ほか用地買収	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道7号 朝日温海道路	自:新潟県村上市川 端 至:山形県鶴岡市大 岩川	平成25年度事業化 平成27年度用地着手 平成28年度工事着手	2,380 2,380	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約37% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施【新潟 県】 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 蒲萄地区ほか用地買収 ・工事推進 猿沢地区ほか改良工 (仮称)2号、4号、9号トンネル工 (仮称)大川橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道8号 栄拡幅	自:新潟県三条市一 ツ屋敷新田 至:新潟県三条市千 把野新田	令和4年度事業化	150 150	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続 き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道8号 柏崎バイパス	自:新潟県柏崎市長崎 至:新潟県柏崎市鯨波	昭和62年度事業化 平成3年度用地着手 平成5年度工事着手	856 856	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約93% 事業進捗率:約79% (令和5年3月末時点) 柏崎市茨目～柏崎市城東 L=2.6km(2/4) 平成14年度開通 柏崎市山本～柏崎市東原町 L=0.5km(2/4) 平成17年度開通 柏崎市城東～柏崎市鯨波 L=3.6km(2/4) 令和4年度開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 宝田地区用地買収 公共補償 ・工事推進 宝田、茨目地区改良工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道8号 直江津バイパス	自:新潟県上越市大潟区犀潟 至:新潟県上越市虫生岩戸	昭和41年度事業化 昭和42年度用地着手 昭和43年度工事着手	360 360	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約85% 事業進捗率:約67% (令和5年3月末時点) 上越市大潟区犀潟～上越市下荒浜 L=2.8km(2/4) 昭和46年度開通 上越市国府～上越市虫生岩戸 L=2.4km(2/2) 昭和49年度開通 上越市下荒浜～上越市国府 L=7.0km(4/4) 平成17年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 安江地区用地買収 公共補償 ・工事推進 安江地区改良工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道8号 糸魚川東バイパス	自:新潟県糸魚川市間脇 至:新潟県糸魚川市押上	平成元年度事業化 平成4年度用地着手 平成10年度工事着手	450 450	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約81% 事業進捗率:約68% (令和5年3月末時点) 糸魚川市梶屋敷～糸魚川市押上 L=3.1km(2/4) 平成27年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道17号 六日町バイパス	自:新潟県南魚沼市竹俣 至:新潟県南魚沼市庄之又	平成6年度事業化 平成10年度用地着手 平成12年度工事着手	342 342	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約87% 事業進捗率:約72% (令和5年3月末時点) 南魚沼市小栗山～南魚沼市余川 L=2.5km(2/4) 令和3年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 竹俣地区用地買収 公共補償 ・工事推進 小栗山地区改良工 (仮称)JR跨線橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道17号 浦佐バイパス	自:新潟県南魚沼市 市野江甲 至:新潟県魚沼市虫 野	昭和63年度事業化 平成5年度用地着手 平成9年度工事着手	230 230	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約86% (令和5年3月末時点) 南魚沼市浦佐～魚沼市虫野 L=5.0km(2/2) 令和3年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 公共補償 ・工事推進 (仮称)新浦佐大橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道18号 上新バイパス	自:新潟県上越市中 郷区市屋 至:新潟県上越市下 源入	昭和50年度事業化 昭和50年度用地着手 昭和53年度工事着手	944 944	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約94% 事業進捗率:約63% (令和5年3月末時点) 上越市市屋～上越市寺町北 L=13.0km(2/4) 平成3年度迄開通 上越市寺町北～上越市下源入 L=11.6km(4/4) 令和3年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道49号 水原バイパス	自:新潟県阿賀野市 寺社 至:新潟県阿賀野市 下黒瀬	平成12年度事業化 平成15年度用地着手 平成17年度工事着手	410 410	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約77% (令和5年3月末時点) 阿賀野市百津～阿賀野市下黒瀬 L=5.4km(4/4) 令和4年度開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 公共補償 ・工事推進 寺社地区ほか改良工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道113号 鷹ノ巣道路	自:新潟県岩船郡関 川村大字下川口 至:新潟県岩船郡関 川村大字片貝	平成9年度事業化 平成13年度用地着手 平成13年度工事着手	250 250	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約57% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・工事推進 1号トンネル工 片貝地区改良工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道113号 小国道路	自:新潟県岩船郡関 川村大字金丸 至:山形県西置賜郡 小国町大字松岡	令和元年度事業化	350 350	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約34% 事業進捗率:約7% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施【新潟 県】 ・調査推進 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続 き事業を推進していく。
国道116号 吉田バイパス	自:新潟県燕市熊森 至:新潟県新潟市西 蒲区高橋	令和2年度事業化 令和4年度用地着手	350 350	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施【新潟 県】 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 吉田吉栄地区ほか用地買収 ・R5年度は以下内容を実施【新潟 市】 ・調査推進 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続 き事業を推進していく。
国道253号 上越三和道路	自:新潟県上越市寺 至:新潟県上越市三 和区本郷	平成13年度事業化 平成13年度用地着手 平成14年度工事着手	780 780	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約46% (令和5年3月末時点) 上越市寺～上越市鶴町 L=3.0km(2/4) 平成30年度開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 公共補償 ・工事推進 鶴町地区ほか改良工 (仮称)米岡第一高架橋ほか下 部工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道253号 十日町道路	自:新潟県十日町市 北鏡坂 至:新潟県十日町市 八箇	令和元年度事業化 令和5年度用地着手	620 620	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 水沢地区用地買収着手 公共補償	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続 き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道253号 八箇峠道路	自:新潟県十日町市 八箇 至:新潟県南魚沼市 余川	平成12年度事業化 平成12年度工事着手 平成13年度用地着手	543 543	・平成29年度の部分供用後、未整備 区間では交通量が増加し、自転車・ 歩行者と車両が接触する危険性や 冬期間の幅員減少など、交通安全 性に関して問題が挙げられている。 ・令和元年度の十日町道路事業化 に伴い、事業区間を変更。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約94% (令和5年3月末時点) 十日町市八箇～南魚沼市野田 L=6.6km(2/2) 平成29年度開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 余川地区用地買収 ・工事推進 余川地区改良工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道289号 八十里越	自:新潟県三条市塩 野淵字御所 至:福島県南会津郡 只見町大字叶津字木 ノ根山	昭和61年度事業化 平成元年度工事着手 平成2年度用地着手	765 765	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約92% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施【新潟 県】 ・調査推進 調査設計 ・工事推進 塩野淵地区改良工 (仮称)B橋梁上部工 ・R5年度は以下内容を実施【福島 県】 ・調査推進 調査設計 ・工事推進 叶津地区改良工 叶津地区舗装工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道8号 入善黒部バイパス	自:富山県下新川郡 入善町柵山 至:富山県魚津市江 口	平成2年度事業化 平成5年度用地着手 平成6年度工事着手	917 917	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約83% (令和5年3月末時点) 入善町上野～魚津市江口 L=14.0km(2/4) 平成26年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 入膳地区用地買収 ・工事推進 入膳地区ほか改良工 中新跨道橋ほか下部工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道8号 豊田新屋立体	自:富山県富山市小 西 至:富山県富山市粟 島町	平成21年度事業化 平成26年度用地着手 平成29年度工事着手	340 340	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約68% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 豊田地区用地買収 ・工事推進 新屋地区ほか改良工 富山跨線橋ほか下部工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道8号 中島本郷立体	自:富山県富山市中島 至:富山県射水市白石	令和3年度事業化 令和5年度用地着手	450 450	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 田尻用地買収着手	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道8号 六家立体	自:富山県高岡市石塚 至:富山県高岡市六家	令和元年度事業化 令和2年度工事着手	80 80	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約43% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 公共補償 ・工事推進 内島高架橋上部工 (仮称)祖父川橋ほか下部工	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道41号 猪谷榆原道路	自:富山県富山市猪谷 至:富山県富山市榆原	平成9年度事業化 平成13年度用地着手 平成14年度工事着手	485 485	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約77% (令和5年3月末時点) 富山市片掛～富山市榆原 L=5.8km(2/2) 平成22年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 公共補償 ・工事推進 舟戸地区ほか改良工 (仮称)猪谷橋上部工 (仮称)片掛橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道41号 大沢野富山南道路	自:富山県富山市榆原 至:富山県富山市栗山	平成26年度事業化 平成29年度用地着手 令和元年度工事着手	380 380	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約42% 事業進捗率:約23% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 春日地区ほか用地買収 ・工事推進 福居地区改良工 (仮称)樋橋川橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道8号 海側幹線 (今町～鞍月)	自:石川県金沢市今町 至:石川県金沢市千木町 自:石川県金沢市大河端西 至:石川県金沢市鞍月	令和2年度事業化 令和5年度用地着手	650 650	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 福久地区ほか用地買収着手 公共補償	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道8号 松任拡幅	自:石川県白山市乾町 至:石川県白山市宮丸町	令和元年度事業化 令和4年度用地着手	120 120	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約1% 事業進捗率:約4% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 宮丸地区ほか用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。
国道8号 小松バイパス	自:石川県能美市大長野 至:石川県加賀市箱宮町	平成19年度事業化 平成21年度工事着手	125 125	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約83% (令和5年3月末時点) 小松市八幡～津波倉町 L=7.3km(4/4) 平成26年度迄開通 能美市大長野町～小松市佐々木町 L=3.2km(4/4) 令和3年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・工事推進 八幡地区舗装工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道8号 加賀拡幅	自:石川県加賀市箱宮町 至:石川県加賀市黒瀬町	平成15年度事業化 平成16年度用地着手 平成19年度工事着手	362 362	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約97% (令和5年3月末時点) 加賀市箱宮町～加賀市松山町 L=2.0km(4/4) 平成22年度開通 加賀市加茂町～加賀市黒瀬町 L=2.2km(4/4) 平成27年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 公共補償 ・工事推進 桑原地区ほか改良工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道159号 七尾バイパス	自:石川県七尾市川原町 至:石川県七尾市下町	平成12年度事業化 平成12年度用地着手 平成21年度工事着手	240 240	・平成28年度 国道470号田鶴浜七尾道路が事業化。 ・平成29年度 七尾外環状道路が事業化。	用地進捗率:約85% 事業進捗率:約52% (令和5年3月末時点) 七尾市古府町～七尾市下町 L=2.7km(2/4) 平成26年度開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道159号 羽咋道路	自:石川県羽咋市四柳町 至:石川県宝達志水町二口	平成20年度事業化 平成24年度用地着手 平成27年度工事着手	185 185	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約93% 事業進捗率:約40% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 飯山地区ほか用地買収 公共補償 ・工事推進 本江地区ほか改良工 酒井地区ほか舗装工 羽咋市四柳町～羽咋市志々見町 L=3.3km(2/4) 令和7年内開通予定	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道159号 金沢東部環状道路	自:石川県金沢市今町 至:石川県金沢市鈴見台	昭和62年度事業化 昭和63年度用地着手 平成3年度工事着手	1,270 1,270	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約95% (令和5年3月末時点) 金沢市今町～金沢市梅田町 L=1.3km(4/4) 平成13年度迄開通 金沢市梅田町～金沢市神谷内町 L=3.9km(2/4) 平成18年度迄開通 金沢市神谷内町～金沢市鈴見台 L=4.2km(4/4) 平成29年度迄開通	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・工事推進 改良工 舗装工 橋梁下部工 金沢市月浦町～金沢市神谷内町 L=1.8km(4/4) 令和5年夏頃開通予定	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道470号 輪島道路(Ⅱ期)	自:石川県輪島市杉 平町 至:石川県輪島市三 井町本江	平成24年度事業化 平成27年度用地着手 平成29年度工事着手	335 335	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約87% 事業進捗率:約55% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 石休場町地区ほか用地買収 公共補償 ・工事推進 市ノ瀬地区ほか改良工、 (仮称)神田川高架橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道470号 輪島道路	自:石川県輪島市三 井町本江 至:石川県輪島市三 井町洲衛	平成18年度事業化 平成22年度用地着手 平成25年度工事着手	295 295	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:100% 事業進捗率:約91% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・工事推進 本江地区ほか改良工 本江地区ほか舗装工 輪島市三井町本江～輪島市三井町 洲衛 L=4.7km(2/4) 令和5年内開通予定	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道470号 田鶴浜七尾道路	自:石川県七尾市赤 浦町 至:石川県七尾市千 野町	平成28年度事業化 平成30年度用地着手 令和2年度工事着手	135 135	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:約81% 事業進捗率:約19% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 赤浦地区ほか用地買収 ・工事推進 八幡地区ほか改良工 (仮称)笠師川橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術 の活用等により、コスト削減を図る。
国道7号 沼垂道路	自:新潟県新潟市中 央区万代三丁目 至:新潟県新潟市中 央区沼垂東二丁目	令和4年度事業化	430 430	・地元情勢の変化等事業を巡る社会 経済情勢等に大きな変化が見られ ない。	用地進捗率:0% 事業進捗率:約1% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計	・技術の進展に伴う新工法の採用 等、コスト削減に努めながら引き続 き事業を推進していく。

事業名 (箇所名)	実施箇所	事業期間等	総事業費(億円) 上段:前回評価時 下段:現時点	事業を巡る社会経済情勢等の変化	主な事業の進捗状況	主な事業の進捗の見込み	コスト削減や代替案等の可能性
国道7号 栗ノ木道路	自:新潟県新潟市中央区沼垂東 至:新潟県新潟市中央区鏡	平成19年度事業化 平成20年度用地着手 平成24年度工事着手	450 450	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約97% 事業進捗率:約54% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 南笹口地区ほか用地買収 公共補償 ・工事推進 南笹口地区ほか改良工 栗ノ木川付替 (仮称)栗ノ木高架橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道7号 紫竹山道路	自:新潟県新潟市中央区鏡 至:新潟県新潟市中央区紫竹山	平成23年度事業化 平成24年度用地着手 平成24年度工事着手	340 340	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約99% 事業進捗率:約44% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 紫竹山地区用地買収 公共補償 ・工事推進 紫竹山地区ほか改良工 栗ノ木川付替 (仮称)栗ノ木高架橋下部工	・建設発生土の有効活用や新技術の活用等により、コスト削減を図る。
国道116号 新潟西道路	自:新潟県新潟市西区明田 至:新潟県新潟市西区曾和	令和元年度事業化 令和3年度用地着手	300 300	・地元情勢の変化等事業を巡る社会経済情勢等に大きな変化が見られない。	用地進捗率:約32% 事業進捗率:約2% (令和5年3月末時点)	・R5年度は以下内容を実施 ・調査推進 調査設計 ・用地買収推進 小瀬地区用地買収	・技術の進展に伴う新工法の採用等、コスト削減に努めながら引き続き事業を推進していく。